



令和6年3月13日

報道関係各位

国立大学法人弘前大学

「QOL健診 明治安田 × 弘前大学」の全国開催について

国立大学法人弘前大学（学長：福田眞作、以下「弘前大学」）と、明治安田生命保険相互会社（執行役社長：永島 英器、以下「明治安田」）は2018年に共同研究講座「未病科学研究講座」を設置し、「未病予測モデル研究」と「未病教育研究」の二つの研究に取り組んできたところです。

明治安田は、2024年4月から、「みんなの健活プロジェクト」（注1）における「明治安田の健康チェック」の一環として、健康啓発型イベント「QOL健診 明治安田 × 弘前大学」を全国で開催します。明治安田は、人生100年時代を迎えるなか、お客さまや地域社会に寄り添い続ける会社として、社会課題である健康寿命の延伸やお客さまの「クオリティ・オブ・ライフ（QOL：生活の質）」向上に資するサービスの開発・提供に取り組んでいます。楽しく短時間で全身の健康状態を知ることができ、健康改善のきっかけとなる「QOL健診」（注2）の全国開催をつうじて、お客さまや地域社会の皆さまの健康づくりを後押しします。

（注1）「人生100年時代」を迎え、健康寿命の延伸に対するニーズが高まっているなか、明治安田が「商品・サービス・アクション」の3つの分野で、「お客さま・地域社会・働く仲間（明治安田従業員）」の継続的な健康増進を応援する取組み

プロジェクト詳細：<https://www.meijiyasuda.co.jp/brand/kenkatsu/>

（注2）「QOL健診」は弘前大学の登録商標

1. 「QOL健診 明治安田 × 弘前大学」について

「QOL健診 明治安田 × 弘前大学」は、弘前大学が約20年にわたる地域住民を対象とした健康増進プロジェクトと大学独自の研究をもとに開発した「QOL健診」をベースに、弘前大学との共同研究成果を踏まえ明治安田版にアレンジした健康啓発型イベントです。普段測定しない全身の健康状態に関する項目を楽しく短時間で測定し、その場で結果をお返りするなど、健康増進の啓発効果が高いことが特徴です。

明治安田は「QOL健診 明治安田 × 弘前大学」を約37,000人の営業職員ネットワークを通じて、全国の皆さまにお届けします。





＜明治安田従業員による体験会の様子＞



＜参加者にお渡しする測定結果票＞

測定日：2024年02月09日  
（前年度測定日：2024年02月01日）

検査番号：00522402-001

性別：男 年齢：48歳

QOL健診 MYけんこうチェックシート（監修：弘前大学）

健康診査（健康状態の把握）

ストレス + 生活習慣の乱れ  
・運動不足  
・偏った食生活  
・多量飲酒  
・睡眠不足  
・喫煙 など

体の不調  
・メタボリックシンドローム  
・歯周病  
・物忘れ（物忘れの自覚がない）  
・ロコモティブシンドローム

元来な生活の終点（健康寿命）  
・がん・心臓病・脳卒中  
・認知症  
・むたきり

生活習慣データ

生活習慣	今回	前回	あなたの習慣
食事	😊	😊	😊
運動	😊	😊	😊
睡眠	😊	😊	😊
口腔ケア	😊	😊	😊
喫煙	😊	😊	😊
飲酒	😊	😊	😊

受診結果データ

項目	結果	基準値・標準
身長	172.3	—
体重	74.8	—
体脂肪率	25.2	—
筋肉量	30.1	—
体水分量	41.3	—
骨密度	0.82	—
心電図	112.4	100未満
血圧	128/84	135/85未満
血糖値	99.2	100未満
尿酸値	37	37未満
脂質	128	130未満
腎臓	8.1	8.0以上
肝臓	16	16未満
胆臓	7.0	7.0以上
膵臓	35.0	35.0以上

健康度判定

心の健康：メタボ、ロコモ(4)、口の健康

今日：抑うつ傾向、非該当、ロコモ2、現状維持

前日：普通、予備群又はメタボ、非該当、要健診

生活習慣病予防/健康増進の課題

食習慣の改善  
運動習慣の改善  
心身の疲労回復  
喫煙  
飲酒習慣の改善

詳しくは、動画をご覧ください  
【QOL健診 明治安田×弘前大学】  
受診後健康教育・啓発動画  
（当社公式YouTube）

2. 展開ラインアップと測定項目

測定項目 （提供・機器名）	測定イメージ	測定内容
唾液検査 （ライオン歯科材株式会社・SMT）		唾液を少量採取、専用の試験紙と測定機器を使用して、歯の健康・歯ぐきの健康・口腔清潔度に関する6項目を測定



<p>推定野菜摂取量 (カゴメ株式会社・ ベジチェック)</p>		<p>手のひらをセンサーに置き、皮膚のカロテノイド量を測定。野菜摂取レベルと推定野菜摂取量の二つの結果を表示</p>
<p>血圧 (オムロン)</p>		<p>上腕で血圧を測定し、動脈硬化、脳卒中などの生活習慣病につながる高血圧のリスクを判定</p>
<p>体組成 (タニタ)</p>		<p>測定機器に乗り、筋肉量、骨量、体水分量、体脂肪率等を部位別（体幹・上肢・下肢）に測定し、総合的に体の組成を判定</p>
<p>骨密度 (富士フィルムヘルス ケア株式会社・超音波 骨密度測定装置)</p>		<p>かかとに超音波を当てることで骨密度を測定。同世代や、若年成人との比較により骨粗しょう症リスクを判定</p>
<p>内臓脂肪 (花王株式会社・ NAiBO®-eye)</p>		<p>着衣のまま正面、側面の2枚の全身写真を撮影するだけで、独自の推計アルゴリズムに基づき内臓脂肪量をシミュレーション</p>
<p>2ステップテスト</p>		<p>大股歩き2歩分の歩幅を測定し、身長との比率に応じてロコモ度を判定</p>
<p>立ち上がりテスト</p>		<p>4種類の高さの違う台から両脚、もしくは片脚で立ち上がり、その結果でロコモ度を判定</p>



<p>握力</p>		<p>全身の総合的な筋力と関連すると言われる握力を測定し、年代別の平均値との差により全身の筋力の程度を評価</p>
<p>生活習慣等に関するアンケート</p>	<p>(回答画面)</p> 	<p>食事、運動、口腔ケア、喫煙、飲酒などの状況から生活習慣を総合的に評価するほか、専門の簡易テスト（CES-D）によってこころの健康度合いも判定</p>

### 3. 共同研究

弘前大学は、全世代の人々が生きがいをもって働き続け心身ともにQOLの高い状態での健康寿命を延伸する、Well-Beingな地域社会モデルの実現を掲げ、文部科学省・国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）（注3）」の拠点として研究活動を展開しています。健康寿命の延伸には、健康維持や早期発見のため、健康と病気の間概念である「未病」の段階で手を打つことが重要となります。明治安田では、この「未病」状態に着目した研究に取り組むため、弘前大学と2018年に共同研究講座（未病科学研究講座）を開設し、「未病予測モデル研究」と「未病教育研究」の二つの共同研究に取り組んでいます。

（注3）共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）

・文部科学省・国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による大型研究支援プログラム。大学等を中心として、企業や地方自治体・市民等の多様なステークホルダーを巻き込んだ産学官共創により、ウィズ／ポストコロナ時代を見据えつつ、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に基づく未来のありたい社会像を拠点ビジョン（地域共創分野では地域拠点ビジョンと呼称）として掲げ、その実現のため「バックキャストによるイノベーションに資する研究開発」とそれを支える「自立的・持続的な拠点形成が可能な産学官共創システムの構築」をパッケージで推進します。弘前大学はその拠点の一つとして活動しています。



#### 【取材に関するお問い合わせ先】

弘前大学 健康未来イノベーション研究機構 TEL：0172-39-5538

明治安田生命保険相互会社 広報部広報グループ TEL：03-3283-8054